

加美町生活支援体制整備事業



1. 加美町の現状について
2. これまでの取組みと今後の方向性について

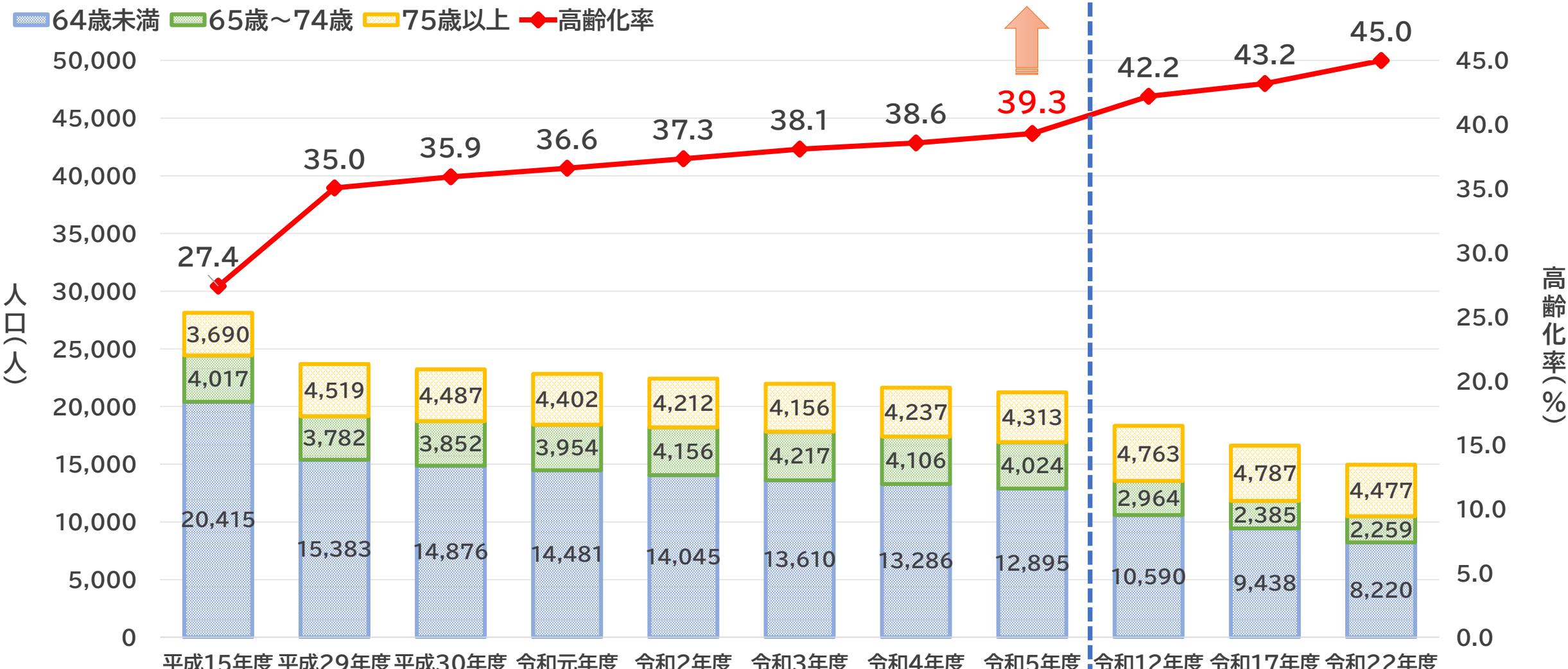


令和7年度 第2回加美町生活支援体制整備事業 第1層協議体
日 時：令和7年7月30日(水)

加美町の人口と高齢化率の推移

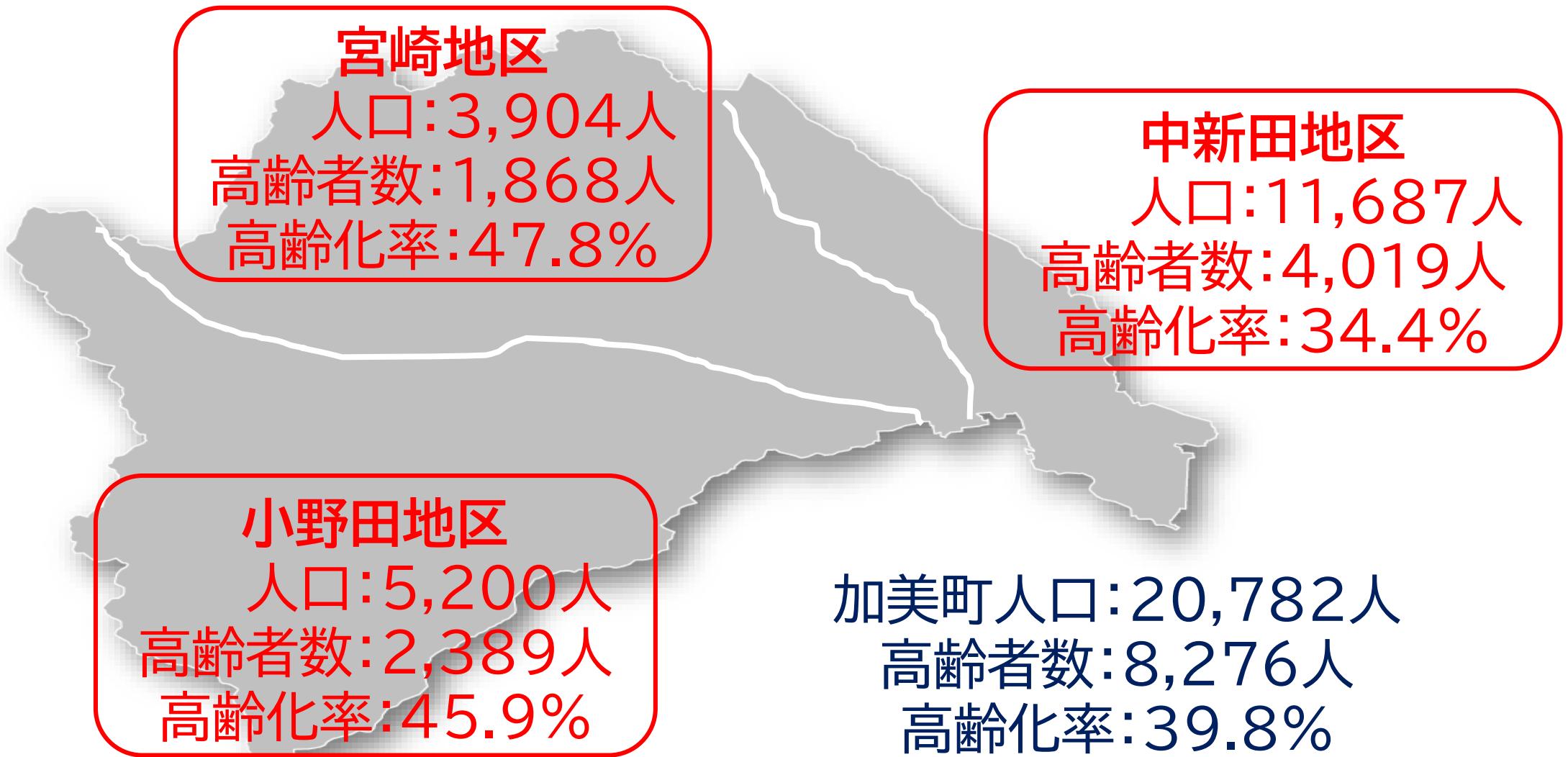
(宮城県 高齢者人口調査より)

宮城県高齢化率:29.5%
 加美町高齢化率:39.3% → 県内13位
 (大崎市:32.1% 色麻町 37.7% 涌谷町 39.4% 美里町37.2%)



令和12年以降の人口は国立社会保障・人口問題研究所推計(2023) ※各年3月末人口

日常生活圏域毎の人口と高齢化率

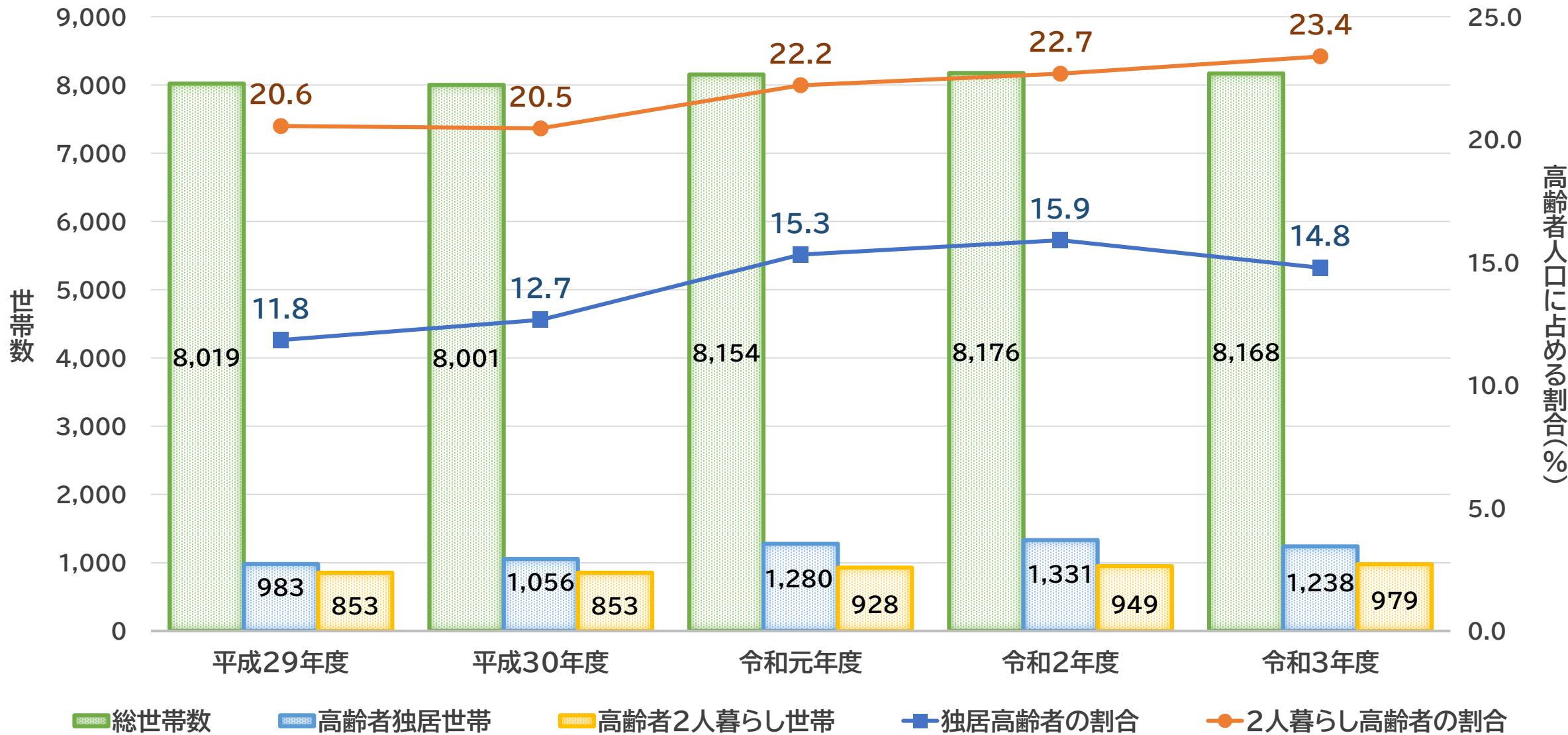


令和7年3月末時点(住民基本台帳人口より)

加美町の世帯数の推移

(宮城県高齢者人口調査より)

加美町の65歳以上人口 8,373人
約1／3が 高齢者独居 若しくは 高齢者二人暮らし世帯
となっています。

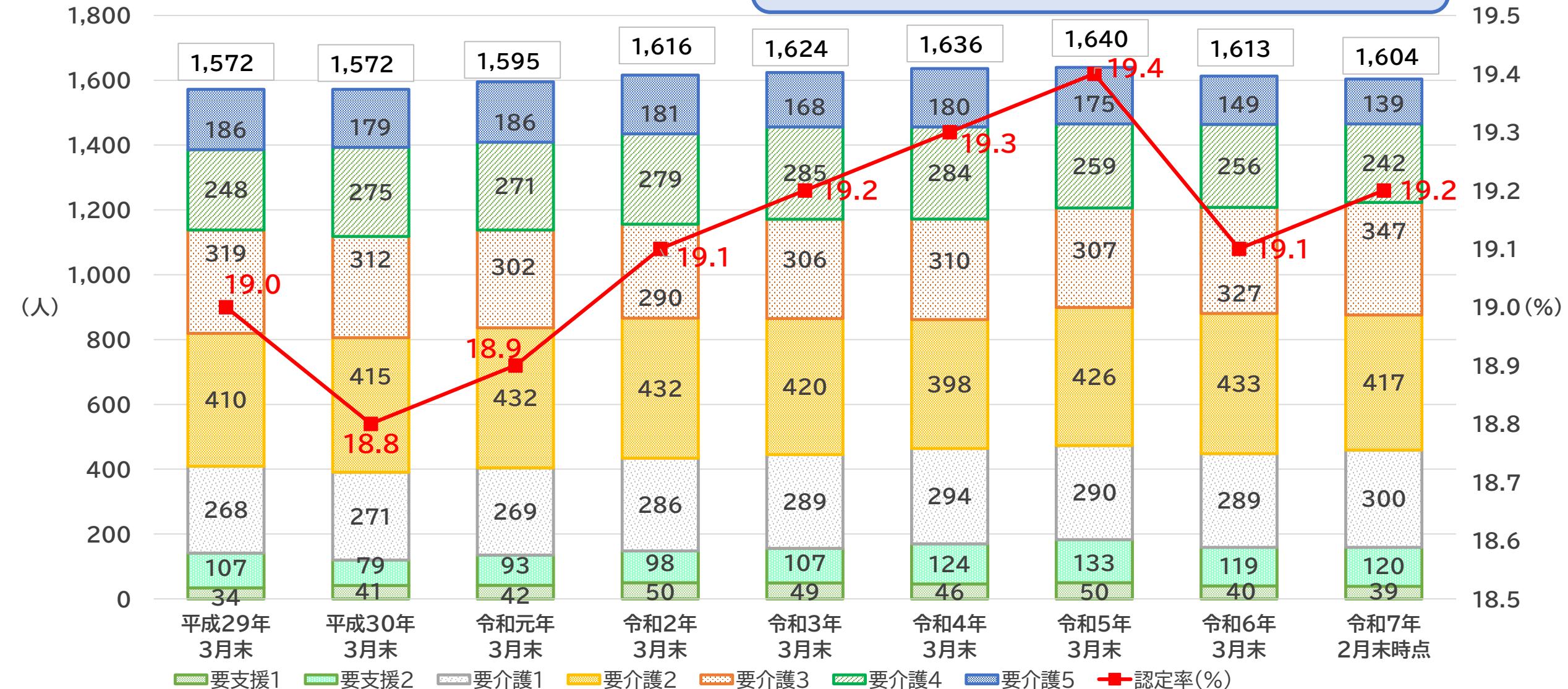


介護保険認定の状況

宮城県認定率:19.4%

加美町高齢化率:19.2% → 県内15位

全国認定率:19.7%

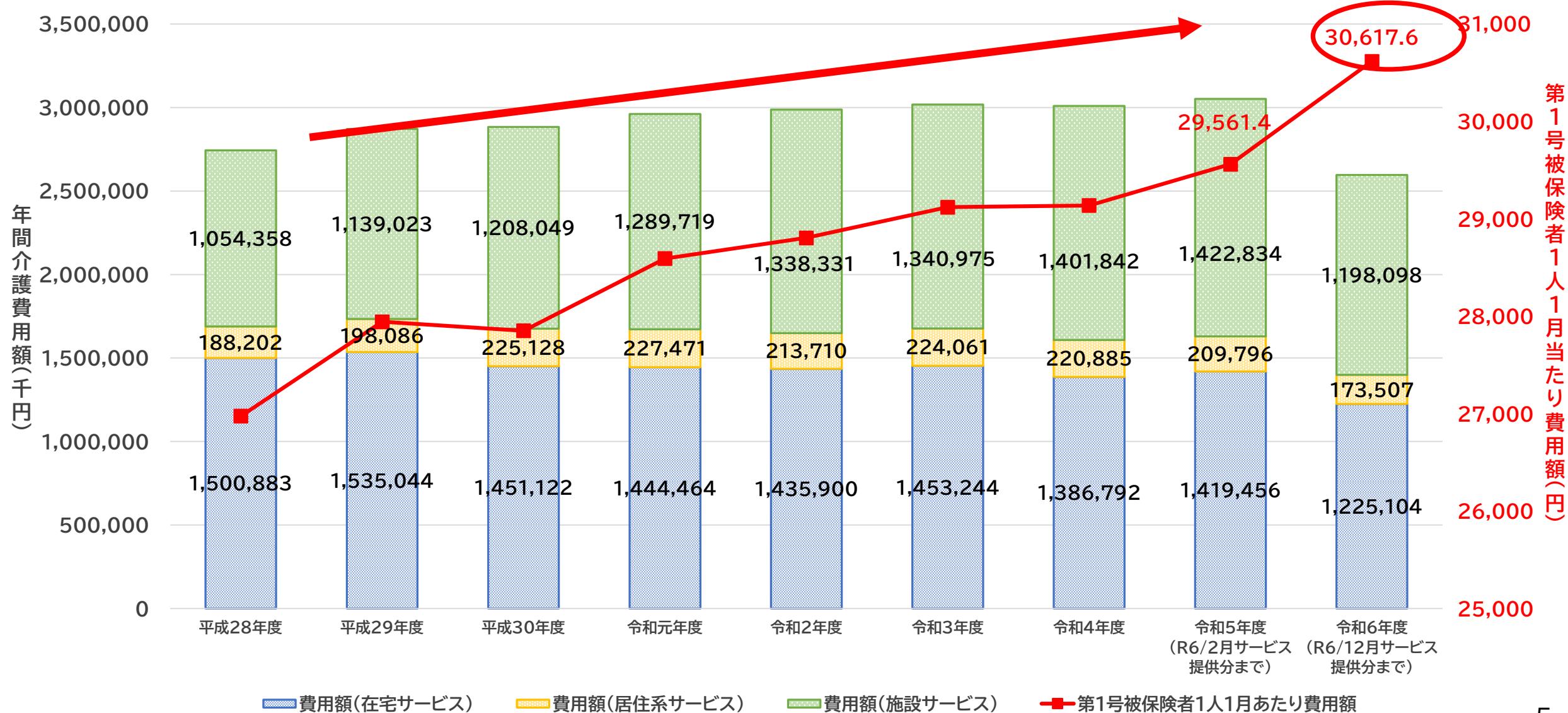


(出典)平成28年度から令和4年度:厚生労働省「介護保険事業状況報告(年報)」、令和5年度:「介護保険事業状況報告(3月月報)」、令和6年度:直近の「介護保険事業状況報告(月報)」

介護費用額の推移

介護に要する費用も年々増えている。

第1号被保険者1人1月当たり費用額：県内4番目に高い！



誰もが安心して住み慣れた地域で
自分らしく暮らしていくためには…

一地域包括ケアシステムー

病気になったら…

医療



訪問診療

通院・入院

住まい



訪問介護・看護

通所・入所

介護



「介護予防への取り組み」「地域における支え合い活動」がこれまで以上に重要になります。

地域の交流・
参加 ボランティア
地域活動

いつまでも元気に暮らすために…

生活支援・介護予防

ふれあい・いきいきサロン(13団体)

行政区ミニディサービス(73行政区)

老人クラブ
(29団体)

移動販売・商品お届け
(5か所)

配食サービス
(見守り・声掛け)

除雪見守りネット事業(40行政区)

ボランティア活動
(話し相手・みんなの畠など)

集いの場
サロン(6団体)

運動自主会
(5団体)

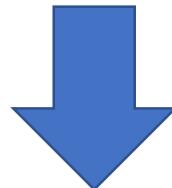
趣味の会
(4団体)



生活支援
(1団体)

生活支援体制整備事業

高齢になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、
生活支援や介護予防に関する体制を整備して、
高齢者を支える地域の支え合い・助け合いの体制づくり
を推進していくための事業



「生活支援体制整備事業協議体」と「生活支援コーディネーター」
の配置等を通して、地域の特性や資源を活かしながらみんなで
高齢者の生活を支える体制づくりについて進めていく。

◆ 協議体とは…

地域の多様なメンバーが集まって、既にある地域の支え合いの活動等の情報を共有したり、お互いの活動同士のつながり、見守り活動、趣味や体操などによる居場所づくり(通いの場)など、その地域ならではの支え合いの地域づくりに向けて、自分たちが無理なくできることについて話し合っていく場になります。

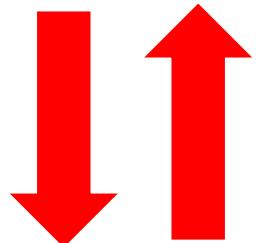


◆ 生活支援コーディネーターとは…

地域の資源を探し出し、協議体で話し合われた内容をもとに、地域で活動が広がるように、組み合わせながらつなげていく調整役です。

加美町生活支援体制整備事業協議体は…

第1層協議体



加美町全体について話し合う場

各地区からまとめられた課題をもとに、高齢者になっても住み続けられる町にするにはどうすればよいか話し合っていきます。

メンバー：行政（保健福祉課・ひとしごと推進課）・行政区長・民生委員・社協
ボランティア友の会・シルバー人材センター・商工会・JA・生協
地域包括支援センター・生活支援コーディネーター

第2層協議体



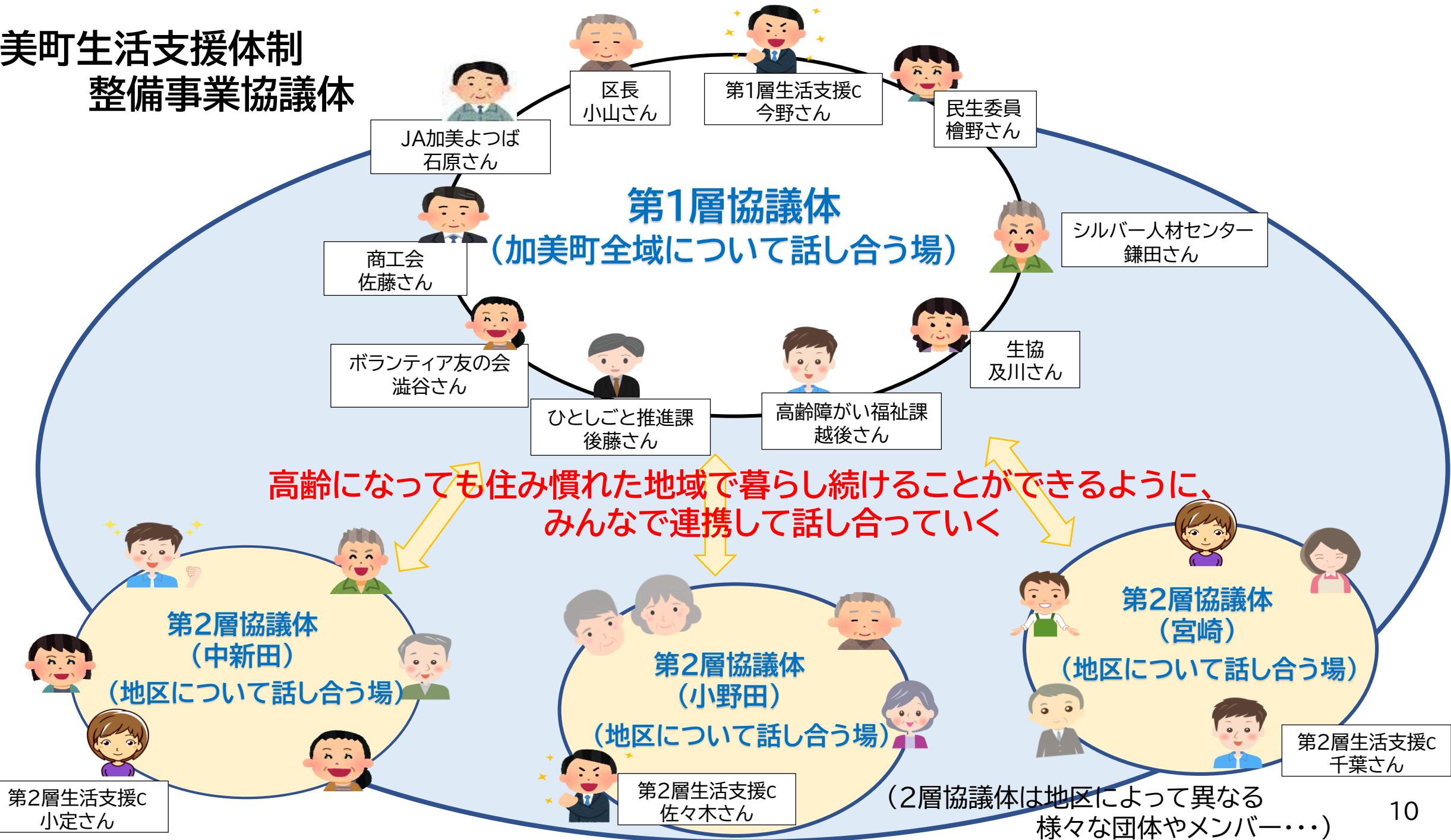
地区ごとについて話し合う場

中新田・小野田・宮崎地区毎に、それぞれ地域の課題やすすでに取り組まれている支え合い活動の情報共有、できること探しなどをしていきます。

* R5年度から、ミニディサービスリーダー情報交換会の場を第2層協議体と位置付けて、実施しています。

メンバー：行政（保健福祉課・ひとしごと推進課）・行政区長・民生委員・社協
ボランティア友の会・地域の活動団体（サロンや生活支援など）
地域運営組織・地域包括支援センター・生活支援コーディネーター
その他 地域の独自性でさまざまな団体…

加美町生活支援体制 整備事業協議体



これまでの取り組み

平成28年度

↓ 協議体設置に向けた勉強会の開催 (2回)

平成29年度

★ 第1層協議体設置

- ◆ 第1層生活支援体制整備事業協議体設置 : 2回開催 協議体委員12名
- ◆ 生活支援コーディネーター : 地域包括支援センター職員1名 養成研修受講

第1回(H29.7.5)

町の高齢者の現状や地域で必要と思われる支援やサービスについての情報交換

第2回(H29.11.20)

「気軽に集えるお茶のみ場」をテーマに、高齢者ができることや自分たちが支援できることについて意見交換

平成30年度

- ◆ 第1層生活支援体制整備事業協議体 : 2回開催
- ◆ 生活支援コーディネーター : 地域包括支援センター職員1名 配置

第1回(H30.11.29)

地域情報の共有と高齢者実態把握から「高齢者が参加できる活動や助け合い活動」をテーマにそれぞれの立場から何ができるかについて意見交換

* 通いの場の活動(ミニディサービス・老人クラブ・お茶飲み会 等…)

* 支え合い活動(ゴミ出し・買い物・雪かき・見守り 等…)

第2回(H31.1.29)

「高齢者の雪掃き」をテーマに、高齢者ができること(自助)・地域でお手伝いできること(互助)等の視点から意見交換

これまでの取り組み

令和元年度

- ◆ 第1層生活支援体制整備事業協議体：2回開催 協議体委員12名
- ◆ 生活支援コーディネーター：地域包括支援センター職員1名配置(養成研修受講)

第1回(R1.10.25)

- ・講話「生活支援体制整備事業とは？」 講師 東北福祉大学教授 高橋 誠一 氏
- ・地域で行っている支援活動をテーマに意見交換

第2回(R2.2.26)

「地域で出来ること・将来地域でこんなサービスがあつたらいいな」をテーマに、地域で支援できること(互助)等の視点から、取り組めそうなことについての意見交換

令和2年度

- ◆ 第1層生活支援体制整備事業協議体：2回中止
- ◆ 生活支援コーディネーター：地域包括支援センター職員1名配置

新型コロナウイルス感染拡大により開催を中止により、書面により、各団体での取組みについて調査

中新田・小野田・宮崎毎に地域性があり、それぞれの地域で活動している方々が協議体委員として加わることにより、より具体的な地域の現状や取組み、アイディアが聞かれる可能性がある。



協議体委員メンバーについて、社会福祉協議会・民生委員児童委員・ボランティア友の会の各団体について、地区ごとに協議体委員を推薦してもらうこととした。 協議体委員 12名→16名へ

これまでの取り組み

令和3年度

- ◆ 第1層生活支援体制整備事業協議体：3回開催 協議体委員16名
- ◆ 生活支援コーディネーター：地域包括支援センター職員1名 人事異動によりコーディネータ不在

第1回(R3.10.8)

- ・講話「地域で支え合いながら生活するには？」
- ・地域で行っている支援活動をテーマに意見交換 → 出された内容は「除雪」「買い物支援」「通いの場」

第2回(R3.12.20)

「除雪支援」「買い物支援」「通いの場」それぞれのテーマに沿って、協議体委員メンバーより話題提供。それともとに不足していることや取組みに必要なことなどについて意見交換

第3回(R4.2.25)

「買い物支援」にテーマを絞り、地域での現状や取組み等について意見交換

<アドバイザー：宮城県社会福祉士会 社会福祉士 真壁さおり 氏>

令和4年度

★ 生活支援コーディネーター 社会福祉協議会委託

- ◆ 第1層生活支援体制整備事業協議体：2回開催
- ◆ 生活支援コーディネーター：加美町社会福祉協議会職員1名配置（生活支援コーディネーター業務委託）

第1回(R4.7.7)

- ・「高齢者の除雪支援」をテーマに町の取組みや生活支援コーディネーターの活動の中からつかんだ情報、県内外の取組み等について話題提供を行い、どのような関りができるか等について意見交換

第2回(R5.1.11)

- ・講話「支え合いの輪を広げていくために」
- ・一人暮らし高齢者訪問や除雪支援の取り組み状況、地域支え合い活動状況など生活支援コーディネーターの活動報告をもとに「あつたらいいな」「こうしたらできそうかな」と思うことについて意見交換

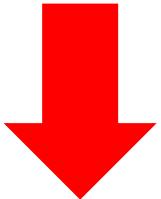
<アドバイザー：宮城県社会福祉士会 社会福祉士 真壁さおり 氏>

これまでの取り組み

今まで協議体を開催して感じたことは…

それぞれの地域で活動している方々が協議体委員として加わることにより、より具体的な地域の現状や取組み、アイディアが出されるようになってきた！

より地域の現状や困りごと、地域の支え合い活動などについて話し合える場面をもつことで、町全体で必要とする取り組みについて検討できるかもしれない！



第2層協議体設置へ

これまでの取り組み

令和5年度

★ 第2層協議体設置・第2層生活支援コーディネーター業務委託

< 第1層 >

- ◆ 第1層生活支援体制整備事業協議体：2回開催 協議体委員10名
- ◆ 生活支援コーディネーター：加美町社会福祉協議会職員1名（生活支援コーディネーター業務委託）

第1回(R5.7.27)

- ・生活支援体制整備事業、町の現状やこれまでの取り組み、生活支援コーディネーターの活動等、今年度の具体的体制について(第1層・第2層)の情報提供
- ・今年度の協議体体制(第2層協議体の位置づけ等)や様々な情報提供を受けての感想など意見交換

第2回(R3.12.20)

- ・「高齢者の見守り支援」についての講話と意見交換
- ・一人暮らし高齢者訪問活動から把握できたことについて生活支援コーディネーターからの活動報告
- ・第2層協議体の報告

<アドバイザー：宮城県社会福祉士会 社会福祉士 真壁さおり 氏>

< 第2層 >

- ◆ 第2層生活支援体制整備事業協議体：3回開催(各地区毎1回)
- ◆ 生活支援コーディネーター：加美町社会福祉協議会職員3名（生活支援コーディネーター業務委託）

協議体での話し合いで出されてきた「通いの場」について話し合いを進めていきたいとの考え方から、「ミニディサービスリーダー情報交換会の場を2層協議体と位置づけ実施。

中新田地区：R5.10.26 小野田地区：R5.10.23 宮崎地区(R5.10.25)第1回(R5.7.27)
テーマ：「無理しない、頑張りすぎない、長く楽しく続けるために…」

これまでの取り組み

令和6年度

協議体での話し合いや生活支援コーディネーターの活動の中から、今まで把握できていなかった地域の活動・把握されてきている。

すでに取り組まれている様々な地域の活動をとりまとめていけるといい！

まずは「地域の集いの場(ミニディサービス・サロン等)」から…

< 第1層 >

◆ 第1層生活支援体制整備事業協議体：2回開催 協議体委員10名

◆ 生活支援コーディネーター：加美町社会福祉協議会職員1名（生活支援コーディネーター業務委託）

第1回(R6.7.25)

「地域資源の可視化(仮称:お宝情報誌の作成)に向けて」をテーマに意見交換

・生活支援コーディネーター活動報告(地域資源の把握について)

第2回(R7.3.10)

「地域資源の可視化(仮称:お宝情報誌の作成)に向けて」をテーマに意見交換

・生活支援コーディネーター活動報告(お宝発表会)

<アドバイザー:宮城県社会福祉士会 社会福祉士 真壁さおり 氏>

< 第2層 >

◆ 第2層生活支援体制整備事業協議体：3回開催(各地区毎1回)

◆ 生活支援コーディネーター：加美町社会福祉協議会職員3名

(生活支援コーディネーター業務委託)

前年度に引き続き、ミニディサービスリーダー情報交換会の場を第2層協議体と位置づけ実施

中新田地区:R6.8.23 小野田地区:R6.8.20 宮崎地区:R6.8.22

テーマ:「みんなで目指そう！ 健康長寿で元気な加美町～集いの場編～」



令和7年度 今後の方針

< 第1層 >

- ◆ 第1層生活支援体制整備事業協議体：3回開催予定(内、1回開催済) 協議体委員9名
- ◆ 生活支援コーディネーター：加美町社会福祉協議会職員1名（生活支援コーディネーター業務委託）

*「地域資源の可視化(仮称:お宝情報誌)～地域の通いの場編～」の発行に向けて進めていく。

*その他、生活支援編の作成に向けて、協議体の中で引き続き話し合っていきたい。

< 第2層 >

- ◆ 第2層生活支援体制整備事業協議体：3回開催(各地区毎1回)予定
- ◆ 生活支援コーディネーター：加美町社会福祉協議会職員3名（生活支援コーディネーター業務委託）

前年度に引き続き、ミニディサービスリーダー情報交換会の場を第2層協議体と位置づけ実施



～ 令和7年度 生活支援体制整備事業 ～

- 地域の支え合い活動の推進・必要性の啓発
 - ➡ 「地域資源の可視化(仮称:お宝情報誌)～通いの場編・サロン編～」の発行・配布
- 支え合い活動の継続と新規立ち上げへの意欲向上に向けての取り組み ➡ 第2回「お宝発表会」の開催
- 地域ニーズの把握と課題の整理、支え合い活動の把握
- 地域支え合い活動の立ち上げ支援・継続支援

— 協議体の様子 —

- 分ある買い物支援サービスについてより多くの方に知ってもらえるといい
(JA→組合員対象の広報紙) 町の広報紙の活用もよい
- 宅配サービス(生協・JAなど)の情報発進がみんなでできると良い
(ミニディ、近所づきあい、声かけ会など)
→見守り家庭訪問もgood!
- 宮崎地区にコンビニがない
○ なんでも売っている店がないで困っている。
どこにいくにも車がないと....
- コンビニの移動販売があると良い
- スーパーが近い所はよいが、宮崎西野田鹿原地区...不便。
- 魚屋さんの移動販売では肉が売っていないなど
- シルバーセンターでニーズ調査を実施予定
- 社協で配食サービス実施。
(要支援以上の方、障がいをお持ちの方に限定されており 提供するのに限界がある時、生協のサービスを提案したい!)

こんなことをしているところもある。もっと多くの人に知ってもらえるように情報発信できるといいな！

ミニディまで歩いて来れない人もいるし、1回休むと次回は2か月後！

もっと近くに集えるサロンがあるといいよね。





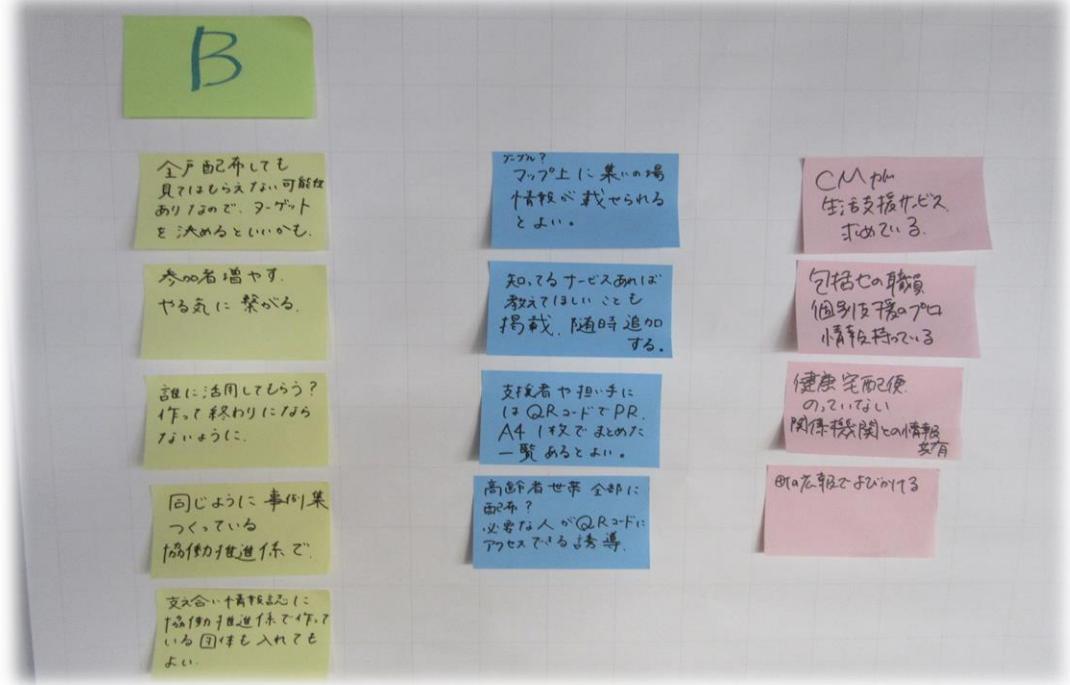
一人暮らしや高齢者二人暮らしの人が増えたように感じる。困りごとは？

日頃から近所とのあいさつや声掛けなど、コミュニケーションづくりやつながりが大事だよね！

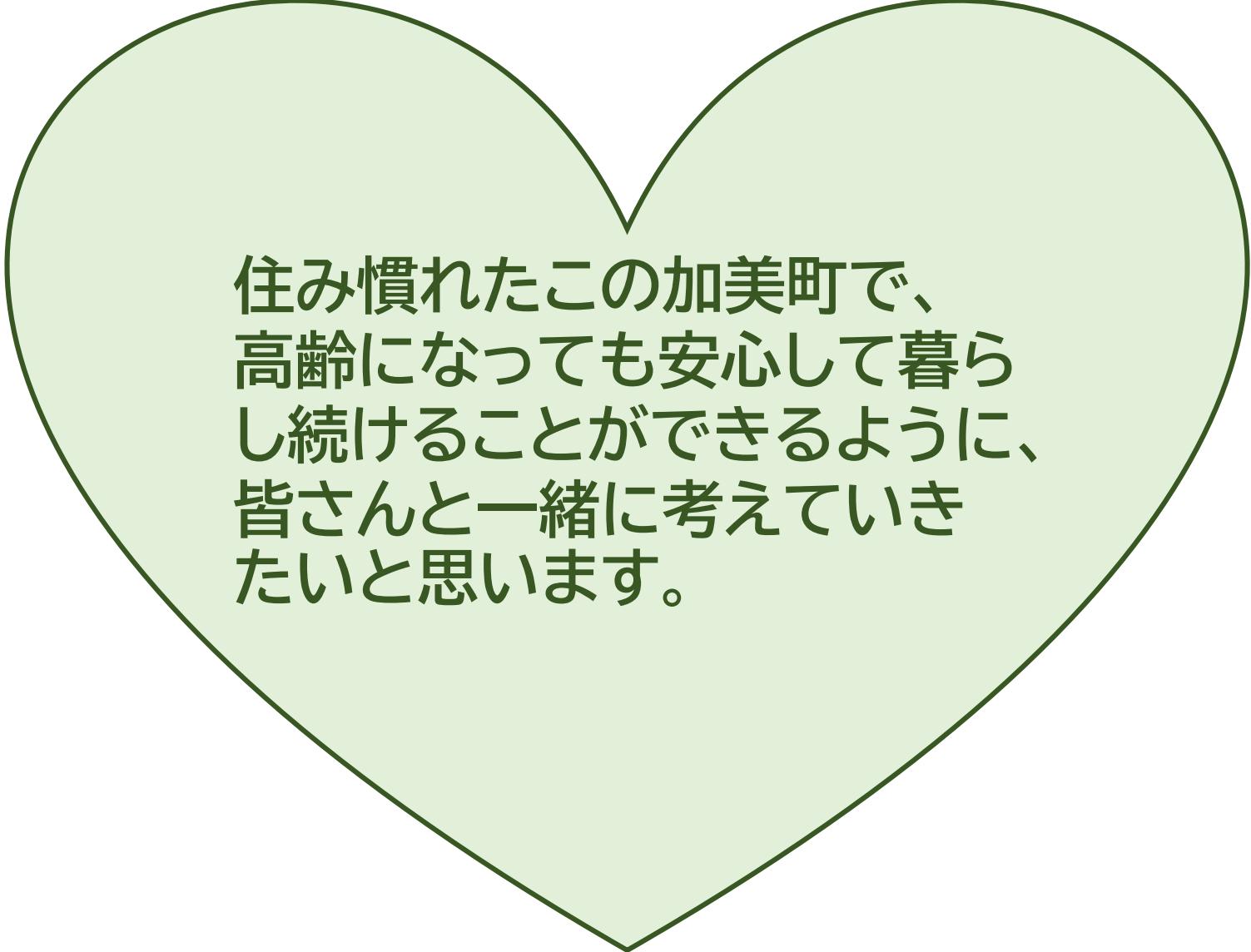




情報誌があると参加意欲につながる。
モチベーションアップにもつながる！



QRコードはお年寄り世帯では見れない！
毎戸配布でも渡した方がいい！



住み慣れたこの加美町で、
高齢になっても安心して暮ら
し続けることができるよう、
皆さんと一緒に考えていき
たいと思います。